



直接取引の注意点

Lists - 直接取引の注意点

1

最初の直接取引

[P3](#)

2

直接取引とみなされる行為

[P4](#)

2

正しい直接取引

[P6](#)



1 -最初の直接取引

物販をしていると「直接取引」や「値下げ交渉」を持ちかけてくるバイヤーにも多く直面しますよね。

利益が出るならと要求を飲みたくなる気持ちは分かりますがそのお客さんとの最初の直接取引には注意してください。

eBayは直接取引に関してすごく厳しく取り締まっています。

直接取引をしていると見なされると、色々な書類を提出しなければいけなくなったり、最悪サスペンドの危機に陥ります。

目先の利益でアカウントが停止してしまっっては本末転倒ですよね。



2 -直接取引とみなされる行為

1

直接取引

イーベイジャパンに確認したところ
メッセージの中に以下のやりとりがあると直接取引とみなされるそうです。

- ① メールアドレスを乗せている
- ② 外部リンクを乗せている
(ネットショップはもちろん、FacebookなどのSNS系もNGです)
- ③ 直接取引に関する話題



2 - 直接取引とみなされる行為

2

メールアドレスを乗せている

メールアドレスに関しては
コンサル生から聞いた話でこんなケースがありました。

バイヤーからメールアドレスをメッセージで送ってきたので
eBay上ではやり取りをせずに
そのアドレス宛にPayPalから請求書を送ったそうです。

すると、eBayのメッセージとPayPalの請求書が紐づいて
警告文がきたそうです。

自分がアドレスを載せてなくても警告がくるほど
厳しく監視されているようですね。



3 -正しい直接取引

3

直接取引を断る

前のページのような警告を避けるには
eBayのメッセージ上では直接取引を断る姿勢を見せて
外部メールでのみ直接取引の話題を出すようにしましょう。

どうということかという、
PayPalはeBayと連携できる口座という役割だけでなく
自社ネットショップの決済方法として使う場合もあります。

つまり、eBayの取引を外部でやるのが問題なのであって
PayPal口座を使ってバイヤー間と
直接取引をするという行為には問題はないんです。



3 -正しい直接取引

4

直接取引の手順

初めてのバイヤーから直接取引をもちかけられたら
eBayのメッセージ上できちんと断りましょう。

そして、まずは1回落札してもらいましょう。

1回でも取引をすればバイヤーのメールアドレス等の情報が手に入ります。

Sold 履歴の中の Record number という数字を押すと
Buyer Email の部分バイヤーのメールアドレスが表示されます。



3 -正しい直接取引

そして、自分のメールアドレスから

「2回目以降はこのアドレスに直接取引のメッセージを送ってください」というよう文章を送ればeBayとは関係ないところの取引になります。

あとはeBayの落札手数料分を引いた価格で提案してあげれば利益を減らさずに自分の顧客を得ることができます。

直接取引をもちかけてくる人は、業者の人も多いのでうまくいけば定期的に購入してくれたり大量購入に繋がることもあります。

こういったチャンスは、安全にものにしていきましょう！

